

科目名	番組制作 2							年度	2024
英語科目名	Programming Work 2							学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	笹本崇、田村晋一	教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		
【科目の目的】 少人数のチームで映像制作を行い、映像制作の基礎となる制作ワークを習得します。 制作した作品はコンテスト（SNSトラブル防止動画コンテスト）へ出品します。 決められたテーマで映像制作を行うことで、発想力を養います。									
【科目の概要】 番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学びます。									
【到達目標】 スケジュールの立て方や、経費の精算方法、スタジオやロケでの実働的なワークを学びます。台本制作や、番組制作の進行などを、“制作職”を中心に勉強します。知識というものは講義を聴いただけではなかなか身につかないため、実習授業と連動して、番組制作過程を理解し、基礎を学びノウハウを習得して番組づくりに役立ててもらえることを目標とします。									
【授業の注意点】 授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止します。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受けることへの妨害行為となることから厳禁です。専門学校は専門知識や技術の習得だけを目的とするものではありません。学生から社会人への移行の場でもあります。社会人としてのマナーや心構えも身につけて欲しいです。ただし、授業時数の4分の3以上の出席が必要です。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 要努力						
到達目標 A	考えた企画を他の学生と相談し、より良い工夫を考えることができる	個人で企画を考えることができる	企画を考えることができない						
到達目標 B	企画の意図を理解し、より良い構図を考え撮影をすることができる	企画に沿ってチームで撮影をすることができる	企画に沿って個人で撮影をすることができる						
到達目標 C	企画の意図を理解し、より良い編集方法を考え、チームで編集することができる	企画に沿ってチームで編集をすることができる	企画に沿って個人で編集をすることができる						
到達目標 D	映像を視聴し作品のメッセージを感じ取り、自分なりの提案ができる	映像を視聴しそれぞれの作品のメッセージを感じ取ることができる	映像を視聴したが、作品のメッセージを感じ取ることができない						
到達目標 E									
【教科書】 資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		番組制作 2			年度	2024	
英語表記		Programming Work 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	コンテスト映像制作①	コンテスト提出に向けた映像制作（SNSトラブル防止動画コンテスト）	1 企画立案	個人で企画を考えることができる	3		
2			1 撮影①	立案した企画の意図を理解し、撮影をすることができる	3		
3			1 撮影②	立案した企画の意図を理解し、撮影をすることができる	3		
4			1 編集①	立案した企画の意図を理解し、チームで編集をすることができる	3		
5			1 編集②	立案した企画の意図を理解し、チームで編集をすることができる	3		
			2 制作動画の提出	決められた納品（提出）フォーマットで映像を提出することができる			
6	制作した作品の視聴と講評	1 制作動画の視聴	他の作品と自分の作品を比較する映像の見方ができる	3			
7	コンテスト映像制作②	コンテスト提出に向けた映像制作（八王子学生CMコンテスト）	1 企画立案	チームで企画を考えることができる	3		
8			1 撮影①	立案した企画の意図を理解し、撮影をすることができる	3		
9			1 撮影②	立案した企画の意図を理解し、撮影をすることができる	3		
10			1 撮影③	立案した企画の意図を理解し、撮影をすることができる	3		
11			1 編集①	立案した企画の意図を理解し、チームで編集をすることができる	3		
12	1 編集②	立案した企画の意図を理解し、チームで編集をすることができる	3				
13	1 編集③	立案した企画の意図を理解し、チームで編集をすることができる	3				
	2 制作動画の提出	決められた納品（提出）フォーマットで映像を提出することができる					
14	映像視聴①	短編映像を視聴して映像表現を理解する	1 ディズニーピクサーの短編映像視聴	短い映像の中のメッセージを感じ取ることができる	3		
15	映像視聴②	MVを視聴して映像表現を理解する	1 各種MVの視聴	特徴的な映像表現の方法を理解することができる	3		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等